

科目名：ドイツ語 I

担当教員：岡部 ベアトリス (OKABE Beatrice)

【授業の紹介】

初めてドイツ語を学ぶにあたって、興味をもってもらえるよう、おもしろく、そしてゆっくりと授業を進めます。ネイティブの話す正しいドイツ語の発音に触れることもできます。授業では、初級的な教材を用い、主に口答練習によって実際に使えるドイツ語を習得していきます。また、対話練習を繰り返すことでドイツ語が口をついて出てきやすくなり、恐れずドイツ語を話せるようになるでしょう。

【教育目標】

実際にコミュニケーションを図れるよう、「見る・聞く・書く・話す」の総合的なドイツ語能力が身につけられるようにしたい。

【授業計画】

- 第1回 発音練習(<名前、住所、歳、職業?>を話題した会話文)
- 第2回 発音(アルファベット)、数字(1~20)
- 第3回 簡単なあいさつ、キー・センテンス(第1課)、対話練習
- 第4回 文法の説明、練習問題
- 第5回 会話文<お名前は?>、練習問題、単語テスト
- 第6回 キー・センテンス(第2課)、対話練習
- 第7回 文法の説明、練習問題
- 第8回 会話文<どこから来ましたか?>、練習問題、単語テスト
- 第9回 キー・センテンス(第3課)、対話練習
- 第10回 文法の説明、練習問題
- 第11回 会話文<パーティーにて>、職業・国籍、練習問題、単語テスト
- 第12回 キー・センテンス(第4課)、対話練習
- 第13回 文法の説明、練習問題
- 第14回 会話文<学生食堂にて>、練習問題、総まとめ
- 第15回 試験対策

【授業時間外の学習】

毎授業ごとに復習の範囲を支持して、次の授業で口頭または小テストにより、確認する。

【成績の評価】

出席状況、授業態度、期末試験。

☆毎授業に出席すること。新しい言葉を学ぶのですから、基本的に授業を2回続けて休むと、学習者は一人でおくれを取り戻すのはむずかしい。やむをえず休んだ場合は、その翌週に、教員に相談することが望ましい。

☆授業中、積極的に参加しているかどうか、書き込み式教科書・ノートやプリントに丁寧に書いているか、評価します。

☆テストの合格点は60点以上です。

【使用テキスト】

大黒びるぎった・日野安昭・佐藤万代著『ともかく話そうドイツ語』(郁文堂)

【参考文献】